2027年3月期　中間期決算

（億円）

	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	増減（対前年同期比）
売上高	3,974	4,470	+495（+12.5%）
営業利益	150	287	+137（+91･7%）
経常利益	118	243	+126（+106.8%）
純利益	110	146	+36（+32.5%%）

＊売上高･営業利益は中間期ベースで過去最高、全セグメントで増収･増益（対前年比）

2027年3月期　通期業績予想

＊売上前回公表の連結業績予想を上方修正、売上高･営業利益は増収･増益を計画、
営業利益は過去最高値を更新

（億円）

	売上高	営業利益	純利益
2027年3月期予想（A）	8,900	480	320
2026年3月期実績（B）	8,116	329	310
増減額（A-B）	+784	+151	+10
増減率（%）	+9.7%	+45.9%	+3.3%

売上高･営業利益は「増収･増益」を計画、営業利益は「過去最高値」を計画

株主還元

年間配当金（増配）　期初計画210円/株⇒215円/株へ

株主還元指標　配当性向40.1%（従来は30%以上を目安）

自己株式取得中　70億円、140万株（上限）（期間26年5月から27年3月まで）

セグメント別業況

① Material Solutions Unit：

塩ビは安定供給を徹底、製品価格改定を実施。MODはグローバルで販売堅調、安定供給と差別化製品拡販に注力。

MSは他素材からの置換と拡販を実現、セメダインとの協業による成果も。

Green Planetは世界のブランドホルダーとの共同した取り組み進展。

② Quality of Life Solutions Unit：

発泡は旺盛な需要に対し、安定供給を継続。価格改定とコストダウンに努めスプレッド改善。

ポリイミドフィルムは高付加価値グレードの拡販を実現。

光学用フィルムは大型TV向けで需要調整。太陽電池は国内戸建て住宅向け

高効率太陽電池の販売堅調。繊維は頭髪製品が拡販･難燃ファブリックは価格改定を実施。

③Health Care Solutions Unit：

医療器は血液浄化器･カテーテルともに販売拡大。海外向け拡販、M&Aが業績に貢献。

医薬はバイオ医薬の定修や販売案件の下期ずれ込みなどにより低調。

④ Nutrition Solutions Unit：

サプリメントは米国･アジアを中心に還元型Q10の販売が大幅増。

食品は高付加価値品へのシフト･価格改定を継続。

以上